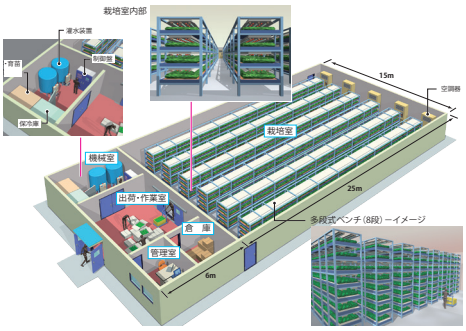
植物生産システム

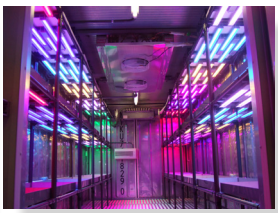
人工光型植物工場（完全制御型） TPFA

- 2～8段までの多段式ベンチを採用し、立体的に室内を利用した人工光型の植物工場。
- 光源には、蛍光ランプを主光源に、LEDを組合せることも可能です。
- 栽培は、養液栽培の他、 有機土壌を利用した栽培方式も用意しています。



コンテナ式植物工場 TAF

- 輸送用のコンテナ内に、人工光源や空調設備など植物育成に必要な設備機器をユニット化して装備しています。
- コンテナタイプですので陸上輸送が容易なうえ、現地工事を最小限に抑えることでイニシャルコストの低減をはかっています。
- 電気と水の供給設備があれば、屋外のどこにでも設置でき、その日から稼動できます。
- 設置後の移動も容易に行えます。店舗の駐車場から船舶や極地での野菜栽培・苗生産など幅広くご利用可能です。
- 標準で長さ20フィートと40フィートの2タイプを用意。規模拡大のご要望にもコンテナの追加で対応可能です。

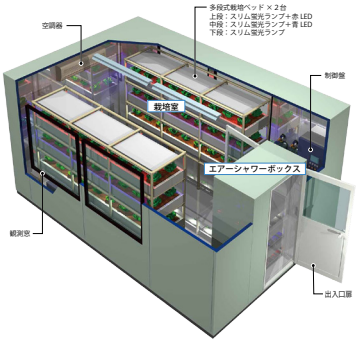


苗工場（N - ボックス） TAN

- 苗の発芽から育苗、接ぎ木苗養生、順化、苗貯蔵など幅広くご利用いただける、プレハブ式の人工光型育苗装置。
- 多段式の育苗棚を装備しており、光源には蛍光灯ランプのほか、LEDや冷陰極蛍光ランプも選択可能です。
- 両側面全面からの吹出し方式のため棚面に対して均一な微風を送ることができます。（PAT.P）
- 3～12型まで各種サイズを用意しています。また、これ以上の大型サイズにも対応可能です。

ハウスタイプ TAPH

- プレハブ組立式のウォークインタイプのプラントセラー。
- 多段式（3～4段）の葉菜類の栽培システムを備えています。
- 平面式の栽培システムにより、トマトなどの果菜類の栽培も可能です。
- エアシャワーを備えることで、クリーン対応も可能です。（オプション）
- 設置場所のスペースにあわせて、自由にレイアウト可能です。



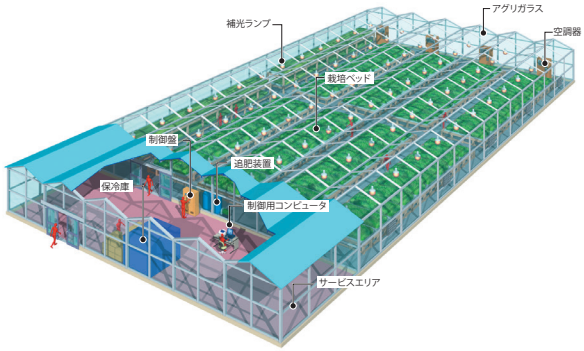
太陽光利用型植物工場

- 太陽光と人工光を併用する太陽光利用型植物工場です。
- 温室の屋根材には植物育成に不要な熱線をカットし省エネ効果を発揮するアグリガラスを採用しています。
- 栽培装置に、ムービングベンチやロータリーベンチ、スペーシング装置を採用することで、床面積の有効な利用が可能です。
- 補光用光源には、植物育成用 HID ランプを使用しています

○外観

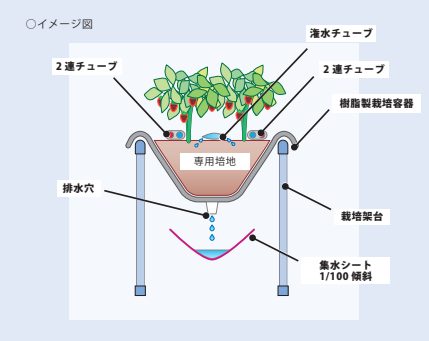
○ロータリーベンチ方式

○ムービングベンチ方式

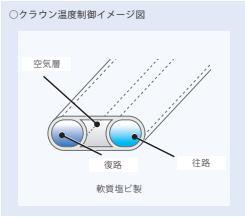


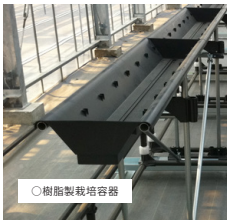
ストロベリー・フィールド（イチゴ多収生産システム）

- 従来型システムの２．５倍となる１０ｔ／１０ａの多収生産も能なイチゴ栽培システムです。
- スペースを有効活用した「スライド式移動栽培ベンチ」と生育の安定を図る「クラウン温度制御」の２つのコア技術の併用が多収生産を可能にしています。
- 既存のハウスにも導入可能です。地下水が利用可能な場合、クラウン温度制御用チラーユニットが不要になり、低コスト化が可能です。
- システムで使用する苗（適合品種各種）の供給も可能です（別途ご相談ください）。



○クラウン温度制御

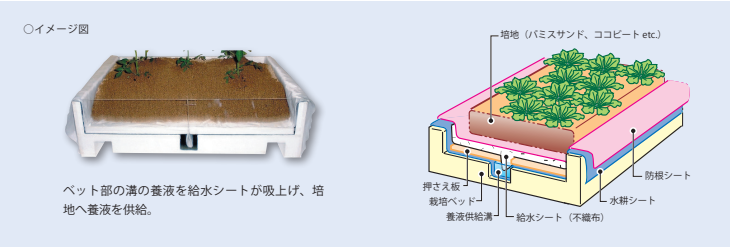




○樹脂製栽培容器

フィールド水耕栽培装置（環境保全型養液栽培）

- 栽培システムは複雑な機器が不要で、導入コスト・栽培コストも大幅に抑えることができます。
- 養液供給に電気は必要ありませんので水の供給さえあれば電気がないところでも栽培できます。
- 栽培に必要な量だけ養液を供給するため、排液を外に出しません。
- 発泡スチロールベットを置き、シート・培地を入れるだけでＯＫ。誰でも簡単に設置ができます。
- 土壌に変わる培地（パミスサンドなど）を使用しますので、誰でもすぐ栽培できます。
- 既設のビニールハウスにも簡単に設置できるため、施設コストを抑えることが可能です。



○収穫時期の様子

エスペック ミック 株式会社 http://www.especmic.co.jp

●製品に関するお問い合わせは
大阪オフィス / フードテック事業部
530-8550 大阪市北区天神橋 3-5-6
Tel : 06-6358-4855　Fax : 06-6358-4856

●製品の改良・改善のため、仕様および外観、その他を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
●このカタログの記載内容は、2014 年 7 月現在のものです。